

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E112K019		学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む。） (School Health)							対面						
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態					
必修		2	3	教育学部		水2	日本語	英語		単独					
担当教員	氏名 玉江 和義														
	E-mail k-tamae@oita-u.ac.jp 内線 7624														
授業の概要	学校における保健教育と保健管理の知識と技術を学ぶ。保健教育に必要な知識は生理・解剖学や衛生学・公衆衛生学の知識と運動し、集団としての健康について学習する。確かな健康観と安全観、およびヘルスプロモーションの習得を通し、児童生徒等および教職員の諸個人、あるいは集団、そして学校としての健康維持増進の在り方を講じる。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 学校における保健の管理と運営法を説明できる									○	○	○	○	○	○	
目標2 保健・体育教科の教育内容を説明できる									○	○	○	○	○	○	
目標3 簡単な救急処置の知識・方法を理解することができる									○	○	○	○	○	○	
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
							各DPへの関連度(計10)		2	1	2	2	1	2	
授業の内容															
1 学校保健の概要(領域・法律)															
2 学校保健の概要(学校保健の法規)															
3 保健科教育の目標と内容															
4 健康概念															
5 中学校における保健領域															
6 教育法概論															
7 中学単元別教育内容(心身の発達)															
8 中学単元別教育内容(健康と環境)															
9 中学単元別教育内容(傷害の防止)															
10 中学単元別教育内容(疾病の予防)															
11 学校保健管理(制度)															
12 学校保健管理(健康診断)															
13 学校環境衛生															
14 学校の安全と救急処置															
15 まとめ															
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	小テスト 最終課題				工夫 その他の	「衛生学および公衆衛生学」との関連付けをしながら、授業内容を構築する。							
	B:意見の表現・交換	○													
	C:応用志向	○													
	D:知識の活用・創造	○													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	授業時間以外の日常において、健康について考究すること、ならびに、それによって生じた疑問などについて授業で質問できるよう、準備を促す(15h)。													
	事後学修	授業で学習した内容論と方法論を大学生生活において実践する(15h)。 課題レポートなどを課す(15h)。													
	想定時間合計	45													
教科書	テキスト集を配布														
参考書	資料を配布する														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト	30%	○	○	○							
	最終課題	70%	○	○	○							
割合	小テストおよび課題の合格を単位取得の条件とする。											
注意事項	正当な理由なき遅刻や欠席には厳正に対処する。 授業における準備（授業前の検温や体調管理、必要に応じてのマスク着用、資料集などの用意、など）を万全にして受講されたい。											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	本科目については、本務校は勿論、非常勤講師として、複数の国立大学と私立大学で20年以上の担当経験を有する											
実務経験を いかした教 育内容	示範的な授業展開を担える。たとえば、学校健康診断や救急救命（AED使用など）、体力測定、統計学的評価法、などにおいて。											